

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.1	三年前にスタッフ間で話し合い、分かりやすく実践しやすい理念を三つ挙げ朝礼にて唱和しながら、共有しているが、地域密着型サービスの意義を踏まえた物が入っておらず加えることが望まれる。	もう一度理念を見直し、ご利用者様の快適な暮らしと、地域の一員としての交流が図れるような理念を作り上げる。	職員会議や運営推進会議等で意見を求めながら、皆で話し合い共有出来る物に作り上げていきたい。	3ヶ月
2	No.6	玄関は常に解錠してあるが、センサーを使用しており外柵の出入り口は、法人の方針として横棒をスライドし、チェーンを外さないと開閉しない柵状の門扉である為、身体拘束に当たる。	法人が身体拘束をしないケアの意義を認識し、どうすれば解錠できるかを職員全員で話し合い、統一した方法で解錠出来る様にしたい。	離設の可能性のある方は、数名なので状態を把握し、統一した方法を確認すれば解錠も可能なので徐々に取組み、法人を説得していきたい。	6ヶ月
3	No.20	人員配置の関係と重度化に伴い、殆どの支援が出来ていない状態である。場合によっては(訴えのある方)に対しては、傾聴し支援に繋げているケースもある。	個別の情報を把握し出来る限り、時間を有効に使い、これまでの関係を断ち切らない様にしたい。	センター方式のシートを活かし、情報を収集しお一人お一人のこれまでを知る事から始める。	3ヶ月
4	No.40	重度化により準備や片付け等、一緒に出来ないし、食事介助の方が多かったり、失行の方の見守り介助で、和やかな食事風景になっていない。	食事介助の方が多かったり、重度化により準備や片付け等一緒に出来なくても、一緒にテーブルを囲みながら、和やかな会話がなされる様な食事の時間にしたい。	必ず一人でも、一緒に食事を摂れるよう、ユニットごとに話し合い、定着させる。	1ヶ月
5	No.49	職員配置や、重度化の理由で日々の外出は難しくなっている。遠出は年間計画に含まれているが、すべて実行する事は、難しくなって来ている。	ホームから出ない日々が常態化しない様、外気浴、散歩等から始め個別にでも家族の協力を貰いながら外出出来るようにしたい。	中庭の芝生の上にガーデンセットを購入頂いたので、天気の良い日は中庭へ出てのお茶のみも楽しいもになっている。家族に協力を貰いながら買い物支援も検討中である。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。